

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【公開番号】特開 2003-237264 (P2003-237264A)

【公開日】平成 15 年 8 月 27 日 (2003.8.27)

【出願番号】特願 2002-349027 (P2002-349027)

【国際特許分類】

**B 4 2 D 15/10 (2006.01)**

**G 0 6 K 17/00 (2006.01)**

**G 0 6 T 7/00 (2006.01)**

**G 0 6 K 19/10 (2006.01)**

【F I】

B 4 2 D 15/10 5 0 1 L

B 4 2 D 15/10 5 0 1 K

G 0 6 K 17/00 V

G 0 6 T 7/00 3 0 0 H

G 0 6 K 19/00 S

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 28 日 (2005.11.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】請求項 1 及び 2 に記載の ID カードを作成する ID カード作成装置であって

、  
前記顔写真を入力する画像入力部と、入力画像データを 2 次元の離散的コサイン変換 (DCT) する DCT 変換部と、該変換されたデータの DCT 符号から 2 値 1 次元情報を構成する 2 値 1 次元情報構成部とを有することを特徴とする ID カード作成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

(請求項 3) 請求項 1 及び 2 に記載の ID カードを作成する ID カード作成装置であって、

前記顔写真を入力する画像入力部と、入力画像データを 2 次元の離散的コサイン変換 (DCT) する DCT 変換部と、該変換されたデータの DCT 符号から 2 値 1 次元情報を構成する 2 値 1 次元情報構成部とを有することを特徴とする ID カード作成装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

【式 2】

[逆変換]

$$f_{mn} = \frac{2}{\sqrt{M \cdot N}} \sum_{u=0}^{M-1} \sum_{v=0}^{N-1} C(u)C(v)F_{uv} \cos\left[\frac{(2m+1)u\pi}{2M}\right] \cos\left[\frac{(2n+1)v\pi}{2N}\right]$$

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

【式 6】

[sign-Only synthesis]

$$f_{mn} = \frac{2}{\sqrt{M \cdot N}} \sum_{u=0}^{M-1} \sum_{v=0}^{N-1} C(u)C(v)e^{j\theta_{uv}} \cos\left[\frac{(2m+1)u\pi}{2M}\right] \cos\left[\frac{(2n+1)v\pi}{2N}\right]$$

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0074】

抽出部 3 では、例えば、図 1 1 に示すような正・負の符号が決定された画像の抽出において、DCT 符号抽出情報提供部 4 から図 1 2 に示すような情報が提供される。図 1 2 は DCT 符号抽出情報提供部から提供される情報であり、白枠の位置は符号を抽出すべき位置を示し、黒枠の位置は符号を抽出しない位置を示している。この DCT 符号抽出情報提供部 4 から提供された情報を図 1 3 に示すように比較することにより、DCT 符号抽出情報提供部 4 から提供された情報に基づいて符号の抽出を行う。抽出は例えば、図 1 3 の左上の枠位置から右に向かって各行を順にスキャンすることによって得られた信号を 2 値 1 次元情報の列として構成すればよい。尚、スキャンの順序は左枠位置から各行をスキャンする態様に限らず、右枠位置から各行をスキャンしてもよいし、各列毎にスキャンを行ってもよいし、本発明の装置のそれぞれによって予め決められた順序によってスキャンすればよく、特に限定されない。